

グリーン壁の鬼才が挑む、小型タイプは日本向き!?

パリのホテル、パーシング・ホールやケ・ブランリー美術館など、植物を駆使した壁を手がけるパトリック・ブラン。その彼のもとで経験を積んだ、若きペイザジスト(植物を中心に構成する空間設計家)アモリー・ガロンが、誰もが利用できるショールーム「バビロンの庭」をオープンした。

彼の作品の特徴は、リサイクル素材を約94%使用するという点。また防水性に富み、カビなどを発生させない特許を取得している。厚さ6センチで1㎡あたり約12kgという軽量構造で、個人宅や集合住宅のエントランスなど、屋内の小さなスペースに適していることも自慢だ。値段は幅1m、高さ2mのもので1500〜2500ユーロ。「コンパクトなタイプもいいですよ」と、日本市場にも意欲的だ。



壁ばかりではなく天井から吊るすタイプや、空気中の温気で成長する植物など、珍しい種類も提案中。



Jardins de Babylone
 ●6, rue des Jeûneurs
 75002 ☎01-40-41-90-40
 ①BONNE NOUVELLE、
 SENTIER
 ②9時30分~13時30分(アポイント制)、14時30分~19時
 (フリー) ③日、祝
www.jardinsdebabylone.fr



右:アモリー・ガロン。
 左:メキシコの砂漠の植物。水を与えると開く。



上:ショールームの様子。左:
 バオバブの仲間。砂漠の植物。



オリヴィエ・バルディナ・写真 photographs by Olivier Bardina
 高田昌枝・文 text by Masae Takata

*Penは月2回刊、1日と15日発売。

map design by Morison